

第 11 回薬物の分子設計と開発に関する日中合同シンポジウム  
The 11<sup>th</sup> China-Japan Joint Symposium on Drug Design and Development

主催：日本薬学会構造活性相関部会、中国医学科学院薬物研究所

後援：AFMC（アジア医薬化学連合）

日時：平成 30 年 6 月 22 日（金）～平成 30 年 6 月 25 日（月）

場所：中華人民共和国紹興市

「紹興酒」でおなじみの紹興市は「水の故郷」とも呼ばれるように、美しい運河と緑豊かな自然景観、2500 年の歴史を有する風光明媚な古都です。杭州国際空港から高速道路使用で 30 分-1 時間程度の距離です。

開催趣旨：

アジアの医薬化学の発展を期して、日中二国間で、薬物の構造活性相関・分子設計および合成・薬物代謝・天然生理活性物質など広い範囲の主題について発表と討論を行い情報交換する。若手育成も図る。

発表形式：

口頭およびポスター（ただし、口頭発表数に制限があります）

参加登録費（現地支払い）：

一般（会員、非会員とも）500 US\$

学生 250 US\$

※いずれも昼食、夕食、エクスカージョン費用を含みます。エクスカージョンに参加されない場合は、一般（会員、非会員とも）400 US\$、学生 180 US\$となります。

発表申込および参加登録締切：平成 30 年 3 月 30 日

申込方法：

下記の申込先まで氏名、職名、住所、電話番号、e-mail address、発表する場合は発表タイトル（口頭、ポスターの希望）を英語、および日本語で知らせてください。講演要旨の様式は後ほど発表者にお送りしますが、要旨締め切りは 4 月半ばを予定しています。

問合せ・申込先：

京都大学大学院農学研究科比較農業論講座

実行委員長 赤松美紀

Tel&Fax: 075-753-6489

E-mail: akamatsu@kais.kyoto-u.ac.jp